

コピーしてすぐ使える 5分理科教科書プリント 4年

下記のページに誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。喜楽研

誤

正

P51 左 問題 ③

・水空気や水、金ぞくは、…… → ④ 空気や水、金ぞくは、……

P57 右 ① 解答

・金ぞくは、…… → ④ 金ぞくは、……
 順に（全体）の ほうへとあたたまる。 → ④ 順に（遠く）の ほうへとあたたまる。

P43 解答

※ 別のページの解答例が記載されています。

正しい解答例を以下に掲載致します。こちらをご利用ください。

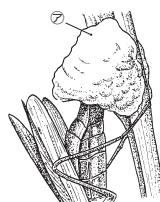
季節と生物③ 秋 秋の生物のようす①

月 日

名 前

- 秋の生物のようすを観察して、夏のようすとくらべました。
- ① 秋のようすについて、（ ）にあてはまる言葉を□から選んで書きましょう。
 秋になると（気温）が下がり、虫などの活動が（にぶく）なっている。11月の中ごろになると、サクラは、葉の色が変わって（かれ）始めている。

活発に にぶく かれ しげり 気温



② 校庭で見つけたオオカマキリが、はらのところからあわのようないの(?)を出していました。春にもみかけた、図の(?)は何とよびますか。

オオカマキリの（らんのう）

③ (?)の中には、何が入っていますか。
 オオカマキリの（たまご）

④ ツバメの巣を観察していましたが、ツバメのすがたは見られませんでした。ツバメのすがたが見られなくなつた理由で、あてはまるもの1つに○をつけましょう。

- （ ）森や山に別の巣を作つてゐた。
 （ ）日本より北のほうへわたつた。
 (O) 日本より南のほうへわたつた。

【言葉】わたり鳥「夏鳥」「冬鳥」

ツバメのように、長いきよりい勤し、季節によってすぐす場所を変える鳥をわたり鳥といいります。日本では、日本で夏をすこすツバメのような鳥を夏鳥、日本で冬をすこすハクチョウのような鳥を冬鳥とよびます。

季節と生物③ 秋 秋の生物のようす②

月 日

名 前

- 秋の動物のようすを観察しました。

① ヒカゲルのすがたをさがすと、夏とはちがう所にいました。どこにいたか、あてはまるほうに○をつけましょう。

()高い木の上 (O) 落ち葉の中

② 秋が深まり寒くなつたころ、ナナホシテントウも植物の間にかくれていました。ナナホシテントウが植物の間にかくれていた理由で、あてはまるもの1つに○をつけましょう。

()たまごをうんでいた。

(O) 寒さをさけていた。

()だっびをしようとしていた。

③ 秋の虫などの動物のようすについて、（ ）にあてはまる言葉を□から選んで書きましょう。

気温が下がると、虫などの動物は（たまご）をうんで死んだり、活動が（にぶく）なつたり、（すむ）場所を変えたりする。

活発に にぶく たまご よう虫 すむ

【言葉】秋に鳴くこん虫

夏にセミの声が聞こえたように、秋にもこん虫の鳴き声が聞こえます。「コロコロコロリー」と鳴くのはエンマコロギです。鳴くのはオスだけ、羽をこすり合させて鳴きます。メスには、たまごをうむための「くだ」があり、このくだを土の中にさこんでたまごをうみます。春になると、たまごからよう虫がかえつて成長し、夏のころに成虫になります。ほかにも秋に鳴くこん虫をさがしてみましょう。

